

第4回 「敬老の日」日中比較

上海に娘と2人で来て早くも1年が過ぎ、2回目の国慶節を迎えました。

国慶節は、中華人民共和国の祝日で10月1日にあたり7日までが連続休日で日本の盆休みのような感じですか。

この期間中はレストラン、交通機関、レジャー施設等を除いて



▲マグロ解体ショーの様子

て殆どの業務が止まります。さて今回は中国の10月5日重陽節（敬老の日）と日本の9月19日の敬老の日を簡単に比較してみたいと思います。

日本の敬老の日は花やプレゼントをあげる習慣が多いようですが少子高齢化に伴い元気で明るいお年寄りが増える社会が望まれており、元気で長生きして頂けるような文化やスポーツ、イベントでみんなが一緒に楽しみ、思い出に残る日にしようという企画が最近多いようです。

弊社の運営する高齢者向け専用賃貸住宅リポーンでは感謝の意味をこめて敬老の日にマグロの解体ショーを行いました。

初めての試みでしたが入居者の方々は、大きさが1メートルはあるのかというマグロを目的

高齢者を敬う気持ち強い中国

中国の高齢者マーケット



ゲストハウス社長
松山英樹

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リポーンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。

また高齢者は敬老の日に小高い所に登る習慣もあり、厄除けの為に菊の花酒を携帯し山などの高い所に登ったり、山がない地域はテレビ塔などに登ったりもします。

日本の敬老の日とは違い中国のご老人は活発な一面があるようです。

上海で見かける光景で地下鉄やバスで

ご老人には必ず誰かが席を譲ります。

また街中や広場などで年若い父母と子供（かなり年配ですが）が手をつなぎ仲良く散歩する光景もよく目にします。

敬老の日は日中問わず高齢者を敬い健康と長寿を祝う行事が行われますが、高齢者に対する

敬愛心や長寿を祝う気持ちは1人っ子政策や儒教の教え等から一概にはいえませんが中国の方々の方が強いようにも感じられます。

いろんな問題が蔓延る中国ですが、見習う所が多々あり感心させられ反省する毎日です。

しかし高齢化社会においては、日本が中国の1歩も2歩も先を行く介護福祉先進国です。

中国の方々も日本の医療・介護・福祉には非常に興味を持っています。

今後日本より高齢化が急速に進む中国において、中国政府もあらゆる政策を打ち出してくるでしょう。

これからの中国ではシニア事業が飛躍的に伸びるのは間違いないと思います。

是非、中国で介護福祉先進国日本の技術をみなさんと一緒に生かしたいものです。

前にし、職人リポーン料理長）が手際良く解体していく姿に歓声や「早く食べたいわ〜」など大賑わいの1日でした。

さて中国の敬老の日は旧暦の9月9日にあたる10月5日に蒸し菓子を食べる習慣があるようです。

老舗の点心店には長蛇の列が毎年恒例の光景です。